

電話[號碼]=14000(後接14000)  
N4-8451-0220-X C3036 P1600E

自衛隊・清水赤濱赤坂  
馬場行「政治体制」確立  
「政治体制」確立

政治体制  
日本主権  
政治体制

政治体制  
日本主権  
政治体制

日本



日本「政治体制」

# 目次

## 目行におおむ

## 第一章 歴史と体験におおむ

井口肇子 作家	旗に罪があるのではない	18
石井京治 京大教授	日露戦争との類比	20
石塚徳子 詩人	現代史の本質に学ぶ	22
石川弘毅 京大教授	小さな向が大きなからに	24
江口幸一 京大教授	既成事実へのもろさ	26
江岸尚子 日本経済新聞記者 社会科学研究会代表	再び戦場に行かせないために	28
串田孫一 歴史家	諦めの祟	30
佐々木啓博 京大教授	歴史の軍事と流行をせよはふらふ	32
津永 寛 京大教授	二重の不幸を許すために	34
津永 隆 京大教授	反省能力の鍛錬を	38
津島義子 詩人	もの志	40
津島義子 詩人	もの志	42
住井千太郎 歴史家	殺さず、喰をつくら	44
武田雄策 京大の全国理事長	八十四歳も抗闘うよ	46
中村八太郎 歴史家	戦争の終わった日	48
広瀬清重 京大教授	思いを新たにして	50
櫻川いづみ 作家	ある在気の時代を	52

## 第二章 批判におおむ

安斎昌郎 立命館大学教授	核兵器廃絶への執着を	56
石川文洋 産経カメラマン	軍艦は必要ない	58
石田 健 政治学者	殺される立場からの平和主義	60
伊藤正直 京大助教授	「知る」ことの意味	62
小出昭一 山梨大教授	本能から理性へ	64
早乙女勝彦 作家	この道はいつが来た道	66
杉井啓子 作家	湾岸戦争とオーストラリア——「オーストラリアの意味」	68
早川弘道 京大教授	国家の平和秩序と平和社会形成	70
松井廣寿 作家	誤知のおもむくところ核兵器廃絶 戦争放棄	72
三上 潤 日本経済新聞記者 中央銀行職員	生命いとおしむ教育を	74
安丸良一 興業大臣	湾岸戦争とオーストラリア	76

高田千次郎	戦争と自衛隊のありかた	78
高田千次郎	「くさくさ」人間の戦争と平和	80

**ついでに憲法の原理をめぐって**

岡部啓二	憲法と人権問題	84
石井あゆ子	日本国憲法と人権	86
浦田二郎	開憲の経緯と憲法	88
浦田啓一	憲法前文と国際協調主義	90
大村けい吉	恒久平和を憲法で示す	94
岡野勉	非暴力不従従の憲法	98
岡部啓二	自衛隊と憲法	100
藤原正典	憲法の持つ暴力の行使	102
木野雄一	平和憲法の堅持と国際貢献の進め方	104
藤田一	いまこそ平和憲法の真価を証明しよう	106
著者	憲法九条の素朴な問い	108
佐伯啓一	平和憲法の大義と先達	110
佐賀	憲法九条を平和的かつたがいの方法として読む	112
シエータ	然の上から	114

**憲法九条と日本国憲法**

藤田一	憲法九条の意義	116
藤田一	憲法九条の意義	120
下村幸三	冷戦戦争と平和憲法	122
藤田一	日本国憲法第九條に思ふ	124
藤田一	憲法九条をよそよそしく	126
岡部啓二	今こそ輝く日本国憲法	130
高橋正典	日本国憲法の可能性	132
田畑	日本国憲法第九條の普遍性と特殊性	134
中村政則	國のなしくたしと補てんの補償	136
増田れい子	一九九二年の憲法に	138
宮内義典	戦争には力を使えないが平和のためなら	140
むらたけい	無敵争へ二助	142
高田千次郎	平和憲法の普遍的意義を再確認する	144
高田千次郎	各国が羨望する平和憲法	146
高田千次郎	憲法を「片のシエータ」化しているか	148

**国際貢献論を批判する**

藤田一	かごと怒り	152
藤田一	日本の「名譽」	154

岡野正志郎 天文学文化大学教授 ..... 「非核の世界」実現の旗手たれ ..... 156

長瀬博 大阪府立大学教授 ..... 戦後の日本の国際的貢献 ..... 158

小笠原 隆 大阪府立大学 ..... 戦後 ..... 160

野木 隆 大阪府立大学 ..... 日本国憲法第九条の今日的意味 ..... 162

森田三 三栄大学教授 ..... 「国際貢献」について考えよう ..... 166

二宮慶文 大阪府立大学助教授 ..... 「国際的貢献」の虚実を考へる ..... 168

花岡 隆 大阪府立大学 ..... いいかげんにしろ ..... 170

浜村正夫 大阪府立大学助教授 ..... 青い空をいつまでも青く ..... 172

針田 國吉 京都府立大学名誉教授 ..... 「全国憲」の鮮烈平和高揚と日本社会の特異性 ..... 174

井井 寛 大阪府立大学 ..... 国際貢献 わたしはこう思う ..... 176

松井 芳郎 名古屋大学助教授 ..... たゞ話を一つ ..... 178

宮崎 誠 明治大学助教授 ..... 国際貢献の道を語る ..... 180

村崎 義孝 大阪府立大学 ..... PKF—本当に大丈夫なんだろうか ..... 182

藤 茂樹 名古屋大学助教授 ..... 「PKO参加で国際貢献」を疑う ..... 184

山内 敏弘 大阪府立大学 ..... PKOと自衛隊の海外派兵 ..... 188

品川 理子 エリカ大学助教授 ..... 国連を「絶大の国平和主義」にせよ ..... 190

吉田 清 明治大学助教授 ..... 日本国憲法のもとでの国際貢献 ..... 192

の国の夢がと聞

天野和夫 立命館大学助教授 ..... 政・財官の癒着と国民主権 ..... 196

江川 啓作 大阪府立大学 ..... 豊かた国 日本の内側 ..... 198

大久保らむ子 立命館大学助教授 ..... ひとりぐらしの住宅政策 ..... 200

片岡 房雄 立命館大学助教授 ..... 国際的貢献と日本の組合運動 ..... 202

加藤 啓郎 立命館大学助教授 ..... 平和と「奪ける権利」と市民の尊厳に ..... 204

本木 亨 立命館大学助教授 ..... 健康を守る活動こそ ..... 206

金原 有内 立命館大学助教授 ..... 「無償培養と教育の克服と「共同性」の回復と ..... 208

小崎 智也 立命館大学助教授 ..... 憲法を下請けする町工場 ..... 210

経路 理夫 立命館大学助教授 ..... 日本人の平和意識と「帝国主義」 ..... 212

小峰 久三郎 立命館大学助教授 ..... 田中正造と「国腐蝕」 ..... 214

佐藤 知夫 立命館大学助教授 ..... 戦争を肯定する人格破壊と「豊かさ」 ..... 216

戸木 田知久 立命館大学助教授 ..... 「サービス職業」に思ふこと ..... 218

中村 邦夫 立命館大学助教授 ..... イロニーとしての「国際貢献」 ..... 220

林 理彦 立命館大学助教授 ..... 言葉と人 ..... 222

細口 孝 立命館大学助教授 ..... 人倫をこそ守れ ..... 224

松浦 三三 立命館大学助教授 ..... 皇室報道はこれといふか ..... 228

山住 正巳 立命館大学助教授 ..... 「一・五三」について考えよう ..... 230

道後二又と総合的展望 ..... 平和化と平和 ..... 232

## 6 今こそ世界は日本をどうみるか

高橋三郎 大阪府立大学経済学部長 ..... 三つの自由国による日本の援助・ODAの意義 ..... 236

大前 隆 早稲田大学経済学部長 ..... 国際貢献と教育 ..... 240

大前清 日本経済新聞編集長 ..... 今こそ「戦争犯罪」を ..... 242

小山田保江子 フリーライター ..... 若ものたちの国際貢献 ..... 244

甲斐正太郎 早稲田大学教授 ..... ソビエト進出からの賞賛 ..... 246

成瀬清 早稲田大学教授 ..... 文化としての平和憲法 ..... 248

笠田 隆 フリーライター ..... となりの禁煙禁止 ..... 252

北沢洋子 国際問題研究家 ..... とともに生きる世界をどうする ..... 254

柳田 公 日本経済新聞記者 ..... 「国際貢献」を問う ..... 256

藤野謙夫 ジャーナリスト ..... 憲法の美徳こそ最大の「国際貢献」 ..... 258

鈴木誠司 早稲田大学教授 ..... 第三の輸出は文化 ..... 260

西山正徳 早稲田大学教授 ..... 国際理解を求めて——民間学・民間教育の立場から ..... 262

沼田 隆 日本経済新聞記者 ..... 現実問題への対応 ..... 266

早山知男 早稲田大学教授 ..... 「良法」制市政策と「戦争責任」問題 ..... 268

藤田 隆 日本経済新聞記者 ..... 東洋の「国際貢献」の「手」 ..... 270

..... 272

..... 276

..... 277

## 7 今こそ世界は日本をどうみるか

..... 276

..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

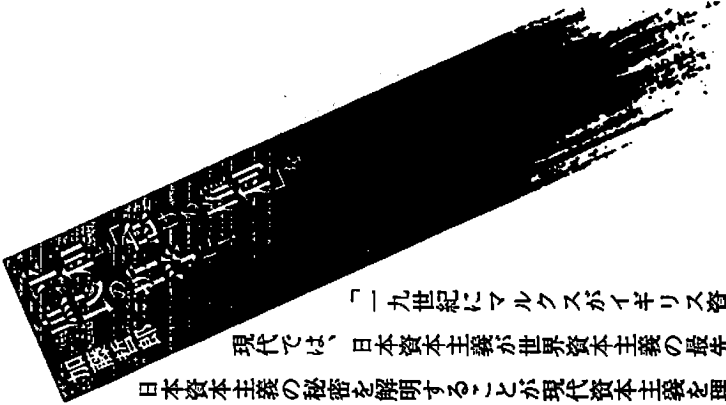
..... 277

..... 276

..... 277

..... 276

四部	野々村孝一	「平和憲法」の継承と継承者	312
新井	孝一	消費削減と日本国民の責任	314
野本三郎	東京大学名誉教授	今がらでもおそくはない	316
市川	誠 <small>（労働情報代表）</small>	平和憲法の尊重と国際貢献について	318
岸井	章 <small>（四国労働組合連合会）</small>	軍事大国化を防ごう	320
大嶋	茂男 <small>（生活協同組合）</small>	食の自立こそ国際貢献を	322
古藤	彰 <small>（早稲田大学教授）</small>	「平和を語る」のでなく	324
堀田	長徳 <small>（愛媛大学名誉教授）</small>	はじめてのチャンス	326
柴田	徳博 <small>（東京理科大学教授）</small>	日本の二十一世紀発展をめざして	328
志保	由美子 <small>（作家）</small>	きよ誇り高い国家にならう	330
野見	友寿 <small>（早稲田大学教授）</small>	日本の国際貢献	332
関根	孝子 <small>（女学院大学）</small>	国際社会の中の日本	334
千田	寛光 <small>（作家）</small>	平和建設・維持すべしつづべし	336
窪田	二郎 <small>（早稲田大学名誉教授）</small>	女性の参画を	338
中島	寛之助 <small>（早稲田大学教授）</small>	原子力平和利用三原則と非核三原則を国際的に普及せよ！	340
屋敷	宏三 <small>（早稲田大学教授）</small>	何よりも地球環境を	342
野村	定三 <small>（早稲田大学教授）</small>	平和貢献のGNDとGPI	344
市川	誠 <small>（労働情報代表）</small>	平和憲法を継承する	346
野辺	隆二 <small>（早稲田大学教授）</small>	世界と日本の非核化をめぐって	348



加藤 武郎  
現代の「豊かさ」を問う

「一九世紀にマルクスがイギリス資本主義を分析したように、現代では、日本資本主義が世界資本主義の最先端にあり典型だから、この日本資本主義の秘密を解明することが現代資本主義を理解するカギである」——こんな論調が、世界中に広まっている。私と『季刊窓』誌上で「日本の経営は世界になにをもたらすか」を論争したカルフォルニア大学のマーティン・ケニー教授もその一人だ。彼が来日した機会に、ひさしぶりで議論した。

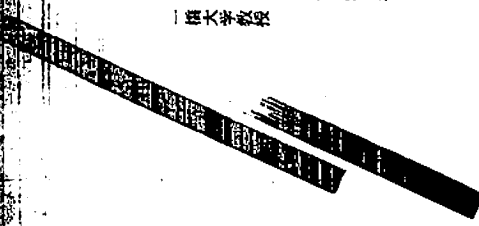
彼は、過労死や受験戦争など日本社会の弊害を認める。しかし、多能工化など日本的経営システムの世界化は不可避だ、という。彼が「フジツ主義」とか「ポスト・フォード主義」とよぶように、いまや資本主義は、アメリカの繁栄を支えたフォード主義的「大量生産大量消費」を超えた、新しい歴史段階に入った。日本資本主義は、その最先端で「少量多品種生産」を可能とするシステムをつくりあげたのだから、このシステムに反対するのは現代のラダイトで、時代錯誤である。世界の左翼の任務は、すでに提案・小集団制

経営「労働者協同組合」的・他者組織化した日本的システムを学び、より人間的・労働者中心のシステムに

た。経済大国の出現を、彼はポジティブに評価する。イギリスもアメリカも、経済的に成功すると「世界の警察官」になった。日本は、経済主義に特化し、湾岸戦争もマネーで解決した「よりましな帝国主義だ」というのだ。そこで私は「それは憲法第九条があるからだ」という。しかし彼は納得しない。日本の軽重備経済大国化は、平和憲法でも日米安保条約でもなく「日本企業の数智」の産物だという。民衆に「平和の哲学」などなく、PKOへの自衛隊派遣に世論も労働組合も賛成しているではないか、と痛いところを衝く。

財界が政界に「哲学がない」といい、その財界の「哲学」は、証券スキャンダルで泥まみれた。「顔の見えない経済大国」で、せめて日本の国民の「哲学」を示さなければ、世界の人々は、ますます日本資本主義にあこがれ、生産性とマネーにからめとられ、市民社会をむしばまれ、権利をうばわれる。平和憲法を守るには、働きすぎ社会からの脱却が必要だ。「怠ける権利」の行使と成長テンポの鈍化こそ、本当の「国際貢献」かもしれない。

かとう てつろう  
一九四七年一月六日生まれ  
順天学教授



# 新編 新編 新編

◎一九九九年〇月〇日出版

◎第一卷 第一卷 第一卷

◎第二卷 第二卷 第二卷

◎第三卷 第三卷 第三卷

◎第四卷 第四卷 第四卷

◎第五卷 第五卷 第五卷

◎第六卷 第六卷 第六卷

◎第七卷 第七卷 第七卷

◎第八卷 第八卷 第八卷

◎第九卷 第九卷 第九卷